



## 平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月12日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャンドウ  
コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城戸 一弥  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部管理部 部長 (氏名) 古山 利之 TEL 03 (5331) 5124  
四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 平成25年8月26日  
四半期決算補足説明資料作成の有無:  有・無  
四半期決算説明会開催の有無:  有・無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績（平成24年12月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	31,467	△2.2	944	△36.1	1,077	△30.5	476	△27.1
24年11月期第2四半期	32,172	0.3	1,478	28.3	1,549	31.3	654	123.3

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 457百万円 (△30.1%) 24年11月期第2四半期 654百万円 (123.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	29.84	29.42
24年11月期第2四半期	40.03	39.93

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第2四半期	22,145	9,985	44.9	621.11
24年11月期	23,644	9,627	40.5	599.49

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 9,935百万円 24年11月期 9,574百万円

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産金額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	750.00	—	750.00	1,500.00
25年11月期	—	750.00	—	—	—
25年11月期 (予想)	—	—	—	7.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有・ 無

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。平成25年11月期 (予想) の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

### 3. 平成25年11月期の連結業績予想（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,046	2.2	2,363	8.3	2,498	7.1	1,034	14.3	64.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有・ 無

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益金額については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有・無  
 新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有・無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
 ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期2Q	16,770,200株	24年11月期	16,770,200株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	774,400株	24年11月期	799,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期2Q	15,975,933株	24年11月期2Q	16,345,217株

(注) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式分割について)

当社は、平成25年1月22日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年6月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに持ち直しを見せ、経済政策、金融政策の効果などを背景としたマインドの改善に支えられ、次第に回復の期待が高まっております。

小売業界におきましては、これらの変化はみられるものの、定着した消費者の節約志向を大きく変化させるまでには至らず、業種業態を超えた競争の激化も相俟って、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、当期を『第二の創業期』と位置づけ、企業理念を再定義し、ブランドロゴ、ブランドスローガンを新たに定め、これを発信することにより、当社の『変化』の浸透を図るための施策を開始・継続いたしました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間は、既存店及び全店の売上高が前年比を下回る結果となりました。

新規出店については、新ブランド仕様の10店舗を含む31店舗を出店、純増で11店舗となりました。

新ブランド・既存店活性化のため、直営店のリニューアルについては、大規模リニューアルを13店舗、内新ブランド仕様9店舗、小規模リニューアルを27店舗、合計40店舗行いました。

これに加え、商品戦略において新ブランドを軸としたクオリティの高い商品の販売を計画しました。開始時期は第3四半期と遅れましたが、これにより今後、店舗・商品が一体となった新ブランド展開が可能となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、新ブランドの初期投資や上記リニューアルの必要性から、販売管理費等が増加しており、新ブランド導入の効果が明確に業績へと反映するまでには一定の時間を要する状況です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高314億67百万円（前年同期比97.8%）となり、営業利益9億44百万円（前年同期比63.9%）、経常利益10億77百万円（前年同期比69.5%）、四半期純利益4億76百万円（前年同期比72.9%）となりました。

売上高の構成は、直営店売上高275億44百万円（構成比率87.5%、前年同期比97.4%）、F C店売上高36億50百万円（構成比率11.6%、前年同期比98.7%）、その他売上高2億72百万円（構成比率0.9%、前年同期比133.9%）であります。なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は838店舗となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は221億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億99百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、「現金及び預金」が14億39百万円の減少、「商品」が1億34百万円の減少したことが挙げられます。

負債合計は121億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億57百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が14億7百万円の減少、「1年内返済予定の長期借入金」が3億32百万円の減少したことが挙げられます。

なお、「現金及び預金」と「支払手形及び買掛金」が減少した原因は、仕入先に対する支払を一括支払信託の設定により行っておりますが、その信託受益権を購入、運用したためであります。

純資産合計は99億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億58百万円増加し、自己資本比率は44.9%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により57百万円減少、投資活動により7億2百万円減少、財務活動により6億63百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は40億46百万円と前連結会計年度末比14億39百万円減少となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は57百万円（前年同期は13億37百万円の増加）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益9億34百万円に対して、加算項目は、減価償却費3億86百万円、固定資産除却損1億1百万円、たな卸資産の減少1億34百万円、減算項目は、仕入債務の減少14億6百万円、法人税等支払額4億9百万円でありました。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は7億2百万円（前年同期は5億95百万円の減少）となりました。

主な内訳は、新規出店及び既存店改装による有形固定資産の取得による支出6億8百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は6億63百万円(前年同期は10億86百万円の減少)となりました。

主な内訳は、長期借入金の返済による支出5億64百万円、配当金の支払額1億19百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の業績予想につきましては、第2四半期における業績が概ね計画通り推移しているため、現時点では平成25年1月15日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,490,361	4,051,279
受取手形及び売掛金	403,075	434,696
商品	5,450,933	5,316,926
未収入金	1,586,529	1,506,861
その他	559,999	569,322
貸倒引当金	△15,051	△14,878
流動資産合計	13,475,847	11,864,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,358,254	3,466,386
その他(純額)	1,281,232	1,285,476
有形固定資産合計	4,639,486	4,751,863
無形固定資産		
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,407,131	4,399,984
その他	1,077,516	1,068,233
貸倒引当金	△28,644	△29,860
投資損失引当金	△26,000	△26,000
投資その他の資産合計	5,430,003	5,412,357
固定資産合計	10,168,331	10,280,809
資産合計	23,644,179	22,145,018
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,005,482	6,598,362
1年内返済予定の長期借入金	797,416	465,216
未払法人税等	454,347	505,949
資産除去債務	4,359	11,253
その他	1,442,814	1,469,990
流動負債合計	10,704,419	9,050,771
固定負債		
長期借入金	779,712	547,104
退職給付引当金	808,097	859,643
資産除去債務	870,517	868,598
負ののれん	552,248	533,205
その他	301,800	300,300
固定負債合計	3,312,375	3,108,851
負債合計	14,016,795	12,159,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,028,304	3,028,304
資本剰余金	3,065,674	3,065,674
利益剰余金	4,295,897	4,651,828
自己株式	△783,517	△759,109
株主資本合計	9,606,358	9,986,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,524	△3,432
為替換算調整勘定	△27,396	△48,081
その他の包括利益累計額合計	△31,921	△51,513
新株予約権	52,946	50,211
純資産合計	9,627,384	9,985,394
負債純資産合計	23,644,179	22,145,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
売上高	32,172,739	31,467,520
売上原価	20,303,423	19,846,065
売上総利益	11,869,316	11,621,454
販売費及び一般管理費	10,390,922	10,676,702
営業利益	1,478,393	944,752
営業外収益		
受取事務手数料	41,712	42,442
為替差益	—	38,144
デリバティブ評価益	13,825	16,120
負ののれん償却額	19,043	19,043
その他	17,115	24,255
営業外収益合計	91,695	140,005
営業外費用		
支払利息	8,502	4,521
為替差損	8,684	—
雑損失	2,106	1,982
その他	815	485
営業外費用合計	20,108	6,989
経常利益	1,549,980	1,077,768
特別利益		
受取補償金	12,792	9,634
特別利益合計	12,792	9,634
特別損失		
固定資産除却損	68,933	101,214
減損損失	74,584	51,502
特別損失合計	143,517	152,716
税金等調整前四半期純利益	1,419,255	934,686
法人税等	764,912	457,935
少数株主損益調整前四半期純利益	654,343	476,751
四半期純利益	654,343	476,751

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	654,343	476,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	1,092
繰延ヘッジ損益	1,093	—
為替換算調整勘定	△1,023	△20,684
その他の包括利益合計	22	△19,592
四半期包括利益	654,365	457,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	654,365	457,158
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,419,255	934,686
減価償却費	391,853	386,988
減損損失	74,584	51,502
負ののれん償却額	△19,043	△19,043
長期前払費用償却額	17,963	18,261
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,074	1,042
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	72,795	51,545
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△192,000	—
株式報酬費用	43,022	—
受取利息及び受取配当金	△1,184	△5,325
支払利息	8,502	4,521
デリバティブ評価損益 (△は益)	△13,825	△16,120
為替差損益 (△は益)	10,070	△4,748
固定資産除却損	51,182	101,179
売上債権の増減額 (△は増加)	15,808	△31,621
たな卸資産の増減額 (△は増加)	312,829	134,006
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,145	△1,406,224
未収入金の増減額 (△は増加)	32,502	79,660
未払金の増減額 (△は減少)	129,553	203,541
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,434	△358
その他の負債の増減額 (△は減少)	△136,866	△131,018
小計	2,282,638	352,476
利息及び配当金の受取額	358	3,923
利息の支払額	△5,418	△4,521
法人税等の支払額	△940,151	△409,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,337,426	△57,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△484,956	△608,590
無形固定資産の取得による支出	△6,827	△16,848
資産除去債務の履行による支出	△57,326	△56,194
貸付金の回収による収入	415	—
長期前払費用の取得による支出	△22,028	△26,895
敷金及び保証金の差入による支出	△183,525	△105,133
敷金及び保証金の回収による収入	158,659	112,730
その他	—	△1,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△595,589	△702,638

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△454,800	△564,808
自己株式の処分による収入	—	21,165
自己株式の取得による支出	△506,500	—
配当金の支払額	△125,133	△119,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,086,433	△663,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,836	△15,852
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△353,432	△1,439,082
現金及び現金同等物の期首残高	4,803,607	5,485,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,450,175	4,046,207

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至 平成24年5月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成24年12月1日 至 平成25年5月31日）

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。